

潮の満ち引きと潮干狩り

潮干狩り

潮干狩りができるのは、干潮のときです！



毎年春から夏にかけて、遠浅の海岸では、潮干狩りを楽しむ人々にぎわいます。潮干狩り(貝掘りとも呼ぶ)とは、潮(海の水)が引いている間に、浜辺や干潟で貝などをとる事です。

海に行ったときに、海面の高さ(潮位)がだんだん高く(または低く)なるのを見たことがありませんか。実は、海面は約半日の周期でゆるゆると上下に変化しています。一番高いときを満潮、一番低いときを干潮と呼びます。この干潮で海の水が引くときが、潮干狩りのタイミングです。

潮干狩り 3月のおすすめ日時(福岡市)

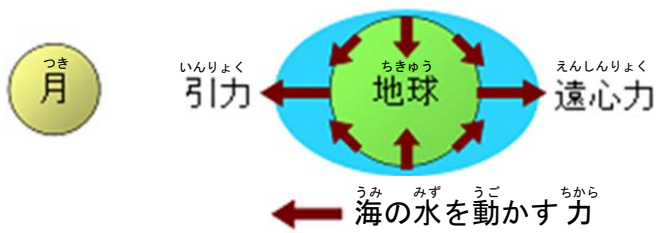
3/12(日)、3/13(月)・・・16時頃
 3/14(火) 3/15(水) 3/16(木)・・・17時頃
 3/27(月)・・・15時頃
 3/28(火)・・・16時頃
 3/29(水) 3/30(木)・・・17時頃

※干潮時刻の前後それぞれ1時間～1時間30分くらいまでが適当と言われています。

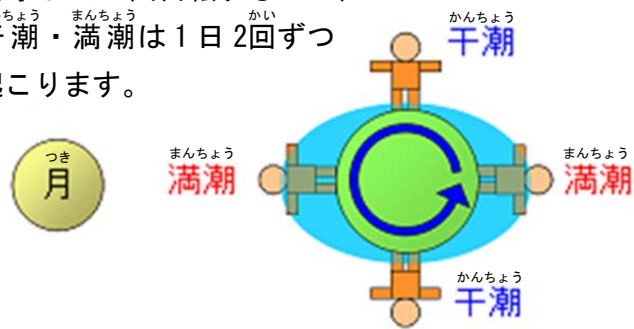
満潮・干潮がおきる理由は？ 月が海をひっぱっている？

満潮・干潮

海の水は月の方へひっぱられます。



地球は1日1回自転するので、干潮・満潮は1日2回ずつ起こります。



満潮・干潮といった海の水の大きな移動(潮の満ち引き)は、月の引力がひきおこしています。地球と月は互いに引き合っていて、地球には月が引っ張る力(引力)が働きます。その力によって海面の高い所と低い所ができ、高い所は満潮、低い所は干潮となります。地球が自転しているので満潮と干潮の場所は刻々と変わり、約1日かけて地球を一周しますので、1日に満潮と干潮が2回ずつおこります。

注意 潮干狩りを安全に楽しむために

- ・干潮の時刻を過ぎると、潮が急に満ちてきます。潮干狩りなどは早めに切り上げましょう。
- ・砂浜や干潟など開けた場所では人に雷が落ちやすくなります。雷が起きそうな空模様ときは早めに安全な場所に逃げてください。
- ・日差しの強い日や気温の高い日は熱中症にならないよう、水分をとるなどの対策を忘れない。

干満の差が日本一大きな有明海

有明海は干満の差が日本一大きな海として有名です。一番干満の差が大きくなる大潮の頃には、潮位の差が5メートル以上にもなります。このため、有明海は、大きな干潟が広がり、ムツゴロウなど有明海特有の生き物が生息しています。



2017年	3月6日	月曜日
平成29年		
福岡管区气象台	〒810-0052	
防災調査課	福岡市中央区大濠 1-2-36	
電話	092-725-3614 (記事) 092-725-3600 (天気相談所)	
メール	fk-kanku@met.kishou.go.jp (ご意見・ご要望はこちらまで)	

「お天気 Q&A」

Q: 潮の満ち引きの時刻は、なぜわかるのですか？

A: 潮の満ち引きには、月の引力だけでなく、太陽の引力が関係しています。月や太陽の動きの規則性がわかれば満ち引きの時間を計算で求めることができます。

気象庁は、計算した全国の海岸の潮の満ち引きの時刻をまとめた「潮位表」をホームページに掲載しています(アクセス方法は下)。

「潮位表」は、潮干狩りや釣りといったレジャーでの利用だけでなく、高潮防災(危険な時間を調べる)や工事の計画など、様々な目的に使われています。

気象情報へのアクセス

満潮・干潮の時刻は	検索	
潮位表		
潮干狩りのしおりは	検索	
潮干狩りのしおり		